

平成31年第1回臨時大分市教育委員会会議録

- 1 日時 平成31年3月7日(木)午後4時から午後4時20分まで
- 2 場所 大分市教育センター 研修室302
- 3 出席者 教育長 三浦 享二
一番委員 上杉 美穂子
二番委員 大久保 眞理子
三番委員 生野 誉士
四番委員 古城 一
五番委員 古城 和敬
- 4 出席事務局職員
教育部長 増田 真由美 教育部教育監 佐藤 雅昭
次長兼学校教育課長 佐藤 浩介 教育総務課長 清水 昭男
教育総務課参事 岡本 隆憲
- 5 書記
教育総務課参事補 黒木 眞由美 教育総務課指導主事 三嶋 みどり
- 6 傍聴人 なし
- 7 議題

(1) 議案

(教議第8号) 県費負担教職員の人事異動の内申について

8 会議の概要

教育長 ただいまより、平成31年第1回臨時大分市教育委員会を開会いたします。(午後4時開会)

教育長 本日の署名委員は一番委員、二番委員にお願いします。

それでは、ただいまより議案審議に入りますが、教議第8号「県費負担教職員の人事異動の内申について」につきましては、人事に関する案件であることから、審議を秘密会とすることを発議いたしますが、賛成の方は挙手をお願いします。

全委員 (挙手)

教育長 全委員賛成と認め、教議第8号の議案審議は秘密会とします。

教育長 それでは、教議第8号「県費負担教職員の人事異動の内申について」を議題といたします。

事務局、説明をお願いします。

教育総務課長

教育長

教育長

議案説明の前に議案をお配りしたいのですがよろしいでしょうか。

どうぞ。

それでは、平成31年3月末県費負担教職員人事異動作業が終了いたしましたので、その概要について述べさせていただきます。

昨年、ご決定をいただきました「大分市定期人事異動方針」のとおり、本市教育振興の立場に立ち、広域人事の推進と適材を適所に配置することを基本に、積極的な他市町村との人事交流及び校長の意見具申を尊重した市内異動を行ったところであります。

私から、今回の定期異動の特色について、管理職人事を中心に述べさせていただきます。

管理職の人事異動につきましては、小中併せて23名の実退職者がございましたものの、市民から信頼される学校づくりを推進する意欲と的確な判断力、そして力強いリーダーシップを持つ校長、教頭の配置に努めました。

まず、校長につきましては、小学校5名、中学校6名の計11名を新たに登用いたしました。11名のうち、5名が行政から、6名が市内副校長及び教頭からの採用であります。

また、市外からの転入につきましては10名でございますが、いずれも大分市在住であり、市外において校長としての勤務実績がある者でございます。

次に、教頭につきましては、小学校21名、中学校13名、義務教育学校2名の計36名を昇任いたしました。そのうち、1名が行政から、17名が市内の主幹教諭、指導教諭、教諭から、18名が市外の主幹教諭、教諭からの昇任であります。また、その他、市外で教頭として活躍しておりました者を1名転入させております。

なお、市外へ転出した管理職は昇任者も含めて27名であり、これらの異動により、市外との交流人事が一層、進んだものと考えております。

また、今回、昇任した36名の新任教頭のうち、50歳以下の者が10名含まれており、若手登用の抜擢人事も着実に推進されたと考え

ております。

適材適所の管理職配置については、これまでも最優先事項としてまいりましたが、本市教育の実情に精通した人材と、市外での豊富な経験を有する清新な人材とを融合させることにより、継続した経営による特色ある学校づくりと、学校経営の更なる活性化を両立できるよう努めてまいったところでございます。

以上でございます。

ここからは、事務局がご説明いたします。

次長兼
学校教育課長

教議第8号「県費負担教職員の人事異動の内申について」、ご説明申し上げます。

本案は、平成31年3月末の教職員の人事異動に係る作業が終了いたしましたので、本委員会で、ご決定をいただこうとするものでございます。

市内小中学校に在籍する県費負担教職員の異動につきましては、本委員会でご決定いただいた「大分市定期人事異動方針」に基づき、作業を進めてまいりました。

今回の異動の概略をご説明いたします。

異動総数は、退職、採用、市外転出を含む転任、再任用等を合わせ、小学校629名、中学校318名、義務教育学校17名の計964名となっております。

異動別の内訳を見ますと、まず、退職につきましては、定年及び希望退職を合わせた退職者の総数は、小学校で75名、中学校30名、義務教育学校が3名の合計108名でございます。

次に、採用のうち、新規採用者につきましては、小学校教諭57名、中学校教諭29名、養護教諭6名、学校事務職員2名の合計94名であり、昨年度の75名から19名の増員となっております。

次に、転任のうち、市町村間での人事交流につきましては、市外への転出者は、管理職を含め171名、市外からの転入者は、管理職を含め195名でございます。

これは、県教委の「新採用からおおむね10年以内に3つ以上の人

事地域を勤務すること」、また、「地域間での交流を積極的に推進すること」などの方針に沿って実施されたものでございます。

また、その他、行政、県立学校、国立附属学校等との交流では、転出24名、転入22名の人事交流をいたしました。

なお、今回の定期人事異動の中で特徴的でありましたのは、主幹教諭の増員でございます。

主幹教諭は、校長または教頭の職務を助け、各分掌への指導助言、分掌間の連絡調整を行うことを職務としているところでございます。

県教委では12学級以上の小中学校に配置するとの方針に基づき、増員を行っておりますが、平成31年度、本市では、現配置の28名から大幅に増員し、小学校に34名、中学校20名、義務教育学校に2名の合計56名を配置したところでございます。

以上のことにつきまして、本委員会でご決定いただくとするものであり、ご決定のうへは、県教育委員会に内申を行おうとするものでございます。

以上でございます。

教育長

ご質問などありませんか。

教育長

今年度の新規採用者は、何名ですか。

次長兼

今年度の新規採用者は、94名でございます。昨年度は、75名でした。

学校教育課長

委員

新規採用者は、何歳くらいでしょうか。

教育長

22歳から49歳です。また、大量退職・大量採用に伴い、教職員全体の年齢構成が若手とベテランの二層になっています。

委員

大分市教育委員会から学校への異動は何名でしょうか。

次長兼

管理職が3名、指導教諭等が5名となっております。

学校教育課長

委員

新規採用者は、20代が多いのでしょうか。

教育長

20代が多いですが、他県で採用された後、結婚等の理由により大分県の採用試験を受け直し、採用された新規採用者もいます。他県で初任者研修を受けている場合は、初任者研修の対象となりません。

委員 初任者研修を受ける期間は、どのくらいですか。

教育長 採用されてから1年間です。

委員 学級担任になるのは、いつからですか。

教育長 ほとんどの教員が採用されてすぐに学級担任となります。

委員 学級担任をしながら、初任者研修を受けるのでしょうか。

教育長 初任者研修の校外研修が行われる日は、非常勤講師が授業の代替等を行っております。

委員 ベテランの先生が大量退職する中、多くの若い先生が学級担任をしている状況ですと心配な点もあります。

教育長 人材育成が大きな課題となっています。

委員 名簿の※は何を表していますか。

教育長 ※は、再任用する教職員です。

委員 再任用の教職員は、教科指導マイスターになるのでしょうか。

教育長 教科指導マイスターは、退職後に教科指導員として市で雇用するもので、再任用の教職員ではありません。

教育長 他にご質問はございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 それでは採決いたします。教議第8号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員 (異議なしとの声)

教育長 ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。

教育総務課長 それでは、お配りした議案書を回収させていただきます。

教育長 他に何かございませんか。

教育総務課長 今後の教育委員会の日程等につきまして連絡をいたします。

3月は、第2回臨時教育委員会を3月20日水曜日午前8時30分から、第3回定例教育委員会を3月27日水曜日午前8時30分から開催いたします。なお、第2回臨時教育委員会につきましては、古城一委員は欠席と伺っております。4月は、4月24日水曜日午後4時から定例教育委員会を開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議終了後は、連絡事項等がございますので、お時間をいただきたくお願い申し上げます。

以上でございます。

全委員

(了承)

教育長

他に何かございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

これをもちまして、本日の会議を閉会いたします。

(午後4時20分 閉会)